

平成 24 年度後期岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策
専門科目	法哲学

以下に挙げる 4 つの問いのなかから 2 問のみ 選択し、解答しなさい。

(1) 米国の政治哲学者ジョン・ロールズが『正義論』を著わしてから、さまざまな規範的正義論が登場してきた。それにはどのような立場があるか、現代の正義論の議論状況を簡潔に説明しなさい。

(2) 公民的共和主義は、政治参加や公德心の陶冶など、現在失われつつある重要な価値理念を再生させようとするとともに、宗教の画一的強制や他国への軍事的侵略を擁護するという危険な側面をもつと考えられている。こうした思想を現代の多元社会において再興させることの意義について論じなさい。

(3) 脳死や安楽死などの生命倫理学上の諸問題に見られるように、人生の終末期における死生観は人によって異なる。こうした死生観は、過去と比較して、現在どのようなものになってきていると考えられるか。またそれらに関する日本の現行法制度をどのように改正するべきであると考えるか、述べなさい。

(4) 法制度は、それを支える人々の協力的な態度や公共心がなければうまく機能しないという議論がある。このように法制度を支える気質や態度は日本の法文化においてどのようなものであるべきか、自由に論じなさい。